

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

＜大学＞

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント(TA)・リサーチ・アシスタント(RA)・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学院学生共同研究室の情報環境の充実を図るため、2010年度を目標にパソコンを5台増設する。	→PC等の設備・機器の整備状況。	A	A	A	A	A
2. 教員共同研究室の情報環境の充実のため、2010年度を目標にパソコンを2台増設する。	→PC等の設備・機器の整備状況。	B	A	A	A	A
3. 学生の学外での研究活動を促進するため、学会発表に関わる交通費補助制度を拡充する。	→学会活動支援制度の制定、実施。	A	A	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 事務局が研究科執行部会にてパソコン増設を提案し、了承されたことを受け、2010年度に院生・教員を対象に貸出用ノート型パソコンを5台増設した。また、研究科執行部会にて検討の結果、2012年秋学期にG号館学生共同研究室(57㎡)に加えて、全学共用棟に学生共同研究室(43㎡)を増設した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ノート型パソコンは大いに利用されており、全学共用棟に学生共同研究室を増設したことにより、院生等の研究を支援する環境が改善された。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か G号館学生共同研究室設置のパソコン(デスクトップ5台)およびノート型パソコン5台が導入から数年経過し陳腐化しているため、2014年度の全学教育研究システムリプレースに合わせ、リプレースする予定。	☆
		その他	☆

目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科委員会にて教員から要望があり、研究科執行部会で検討の結果、2010年度に教員共同研究室にパソコン(デスクトップ)2台を導入した。また、研究科執行部会にて検討の結果、2012年度秋学期に全学共用棟に教員共同研究室を2室設置した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 教員共同研究室にパソコン2台を導入することにより、教員の教育研究活動を支援する環境が改善された。また、全学共用棟に教員共同研究室を2室設置したことにより、教員が共同研究を行うスペースと機器・装置を利用する実験を行うスペースをそれぞれ確保することができた。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2014年度に教員共同研究室の1室に脳波測定装置一式を導入することにより、さらなる実験の支援充実を図る。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科執行部会にて検討の結果、2010年度より補助条件を拡大した(1人につき年度内1回→2回)。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 申請件数が増加し、院生の研究水準が向上した。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 予算上の制約があり、現行の申請件数を維持するよう努める。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆